

第24回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評 ショパニストA部門

●審査員 A

各々が自分の個性にあった選曲をされていたように感じました。年々レベルが上がってきているように感じますが、表現したいという気持ちが高まるにつれて過度な表情になる傾向があります。ショパンの書いた楽譜から逸脱しないように注意して下さい。楽譜に書いてある音符の長さやリズム、強弱の違いをどのような音色や音質で表現すると心地よい音の響きを作れるか、自分の音をよく聴いて弾いて下さい。ペダルのタイミングも、ホールや楽器の違いによって響きが変わりますので、ショパンが記した箇所の意図をくみとり、その最適な表現へと近づけていきましょう。

●審査員 B

ピアノを専門的に学びたいピアノ学習者の皆さんへお伝えしたい7か条

1. すべての音は腕から生み出される
2. 常に、腕と指先が繋がっているという感覚を忘れないこと
3. すべての筋肉と腱から緊張を取り除くこと
4. 強弱をつけるときは、鍵盤を押しつけたり、叩きつけるのではなく、重さのバランスをコントロールすること
5. 肘から演奏しないこと
6. ルバートやアツチェレランドする際には、常に形式感と拍子感を意識すること
7. アーティキュレーションと強弱は、拍の位置と音の役割で決まる

●審査員 C

本日演奏された皆さん、おめでとうございます！職業ピアニストではないにも関わらず、とてもハイレベルな演奏でした。これからも忍耐強く音楽を続けていかれるよう、そしてご家族やご友人からのサポートも得られるよう願っています。尚、選曲については慎重に行ってください。

●審査員 D

お仕事をもちながらなど、いろんな方が演奏して下さったと思うのですが、音楽、ピアノが好きという事が感じられる良い演奏が多かったです。心から歌っていらっしゃいます。ショパニスト部門のレベルが以前より上がっていると思います。

●審査員 E

とても良く勉強されています。年齢もピアノ歴もいろいろだと思いますが、Chopin を愛している気持ちがあふれています。ただ、思いが強すぎて、テンション上り気味な演奏もありました。聴いている方に気持ちをどう伝えるか、表現を吟味する必要があります。音量のバランスや音質も大切かと思いました。

●審査員 F

アジア大会進出おめでとうございます。皆様思い思いの曲を練習されていらっしゃいまして、楽しく聴かせて頂きました。この部門にはいろいろな方が出場されていると思いますが、どの方もショパンを愛しショパンの曲を楽しんで弾かれている方ばかりですので、その思いがよく伝わってくる演奏でした。これからもたくさんの曲に触れ挑戦して頂きたいと願っております。